## 熱核が熱方程式の解であることの証明 (ユークリッド空間)

1

定義 1.1. t>0 に対して  $h_t: \mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n \to \mathbb{R}$  を

$$h_t(x,y) := \frac{1}{(4\pi t)^{n/2}} e^{-\frac{\|x-y\|^2}{4t}}$$

で定め、これを対称連続関数の形の熱核という。また、 $p_t: \mathbb{R}^n \to \mathbb{R}$ を、

$$p_t(x) \coloneqq \frac{1}{(4\pi t)^{n/2}} e^{-\frac{\|x\|^2}{4t}}$$

で定める. これを単に熱核という.

命題 1.2. (熱核は熱方程式の解).  $t \in \mathbb{R}_{>0}, x \in \mathbb{R}^n$  に対して

$$\partial_t p(t,x) = \Delta_x p(t,x)$$

が成り立つ.

証明.

$$u(t,x) := \log p = -\frac{n}{2} \log t - \frac{\|x\|^2}{4t} + \text{Const}$$

と定めると,  $p(t,x) = e^{u(t,x)}$  である.

$$\begin{split} (\partial_t u(t,x)) &= -\frac{n}{2} \frac{1}{t} + \frac{\|x\|^2}{4t^2}, \\ (\partial_{x_i} u(t,x)) &= -\frac{x_i}{2t}, \\ (\partial_{x_i}^2 u(t,x)) &= -\frac{1}{2t} \end{split}$$

であることから,

$$(\partial_t u) = \Delta_x u + (\nabla u, \nabla u)$$

が成り立つ.

$$\partial_t p(t,x) = (\partial_t u(t,x))e^{u(t,x)}, \quad \Delta_x p(t,x) = (\Delta_x u(t,x) + (\nabla_x u(t,x), \nabla_x u(t,x)))e^{u(t,x)}$$

であるので.

$$\partial_t p(t,x) = \Delta_x p(t,x)$$

が成り立つ.